

1 全国学力・学習状況調査から見る秋田県の状況

1 教科に関する調査結果の概要

(1) 県全体の平均正答率の状況

○小学校第6学年

年 度 教 科	H 2 2		H 2 1		H 2 0		H 1 9	
	平均正答率 (全国比)	標準偏差 (全国)	平均正答率 (全国比)	標準偏差 (全国)	平均正答率 (全国比)	標準偏差 (全国)	平均正答率 (全国比)	標準偏差 (全国)
国 語 A (知識)	88.7~89.9 (+5.4~+6.6)	2.1 (2.8)	75.3 (+5.4)	2.9 (3.4)	74.4 (+9.0)	3.4 (4.0)	86.1 (+4.4)	2.3 (2.8)
国 語 B(活用)	83.9~85.7 (+6.1~+7.9)	1.9 (2.4)	60.4 (+9.9)	2.0 (2.3)	62.9 (+12.4)	2.9 (3.1)	69.0 (+7.0)	2.3 (2.6)
算 数 A (知識)	82.1~84.2 (+7.9~+10.0)	3.2 (4.0)	86.2 (+7.5)	2.7 (3.4)	80.7 (+8.5)	3.0 (3.7)	88.4 (+6.3)	2.7 (3.4)
算 数 B(活用)	57.8~60.3 (+8.5~+11.0)	2.7 (2.7)	63.7 (+8.9)	3.1 (3.3)	58.9 (+7.3)	2.8 (3.0)	68.6 (+5.0)	2.7 (3.0)
四 項 目 合 計	312.5~320.1 (+27.9~+35.5)		285.6 (+31.7)		276.9 (+37.2)		312.1 (+22.7)	

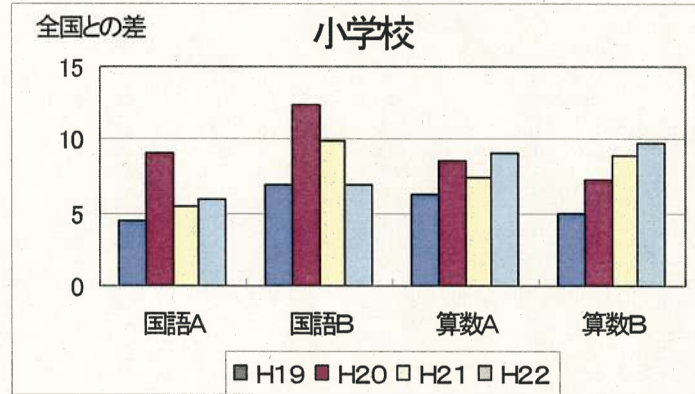
○中学校第3学年

年 度 教 科	H 2 2		H 2 1		H 2 0		H 1 9	
	平均正答率 (全国比)	標準偏差 (全国)	平均正答率 (全国比)	標準偏差 (全国)	平均正答率 (全国比)	標準偏差 (全国)	平均正答率 (全国比)	標準偏差 (全国)
国 語 A (知識)	79.3~80.2 (+4.2~+5.1)	5.5 (6.4)	82.3 (+5.3)	5.1 (6.1)	78.6 (+5.0)	4.8 (5.8)	85.4 (+3.8)	4.4 (5.5)
国 語 B(活用)	71.0~72.4 (+5.7~+7.1)	2.1 (2.4)	81.8 (+7.3)	2.2 (2.7)	66.8 (+6.0)	2.3 (2.5)	77.0 (+5.0)	2.1 (2.4)
数 学 A (知識)	70.0~71.7 (+5.4~+7.1)	7.8 (8.8)	68.8 (+6.1)	6.9 (7.6)	70.1 (+7.0)	8.1 (9.0)	77.5 (+5.6)	7.5 (8.7)
数 学 B(活用)	49.0~50.9 (+5.7~+7.6)	3.5 (3.8)	63.4 (+6.5)	3.7 (3.9)	54.7 (+5.5)	3.6 (3.7)	65.3 (+4.7)	3.9 (4.3)
四 項 目 合 計	269.3~275.2 (+21.0~+26.9)		296.3 (+25.2)		270.2 (+23.5)		305.2 (+19.1)	

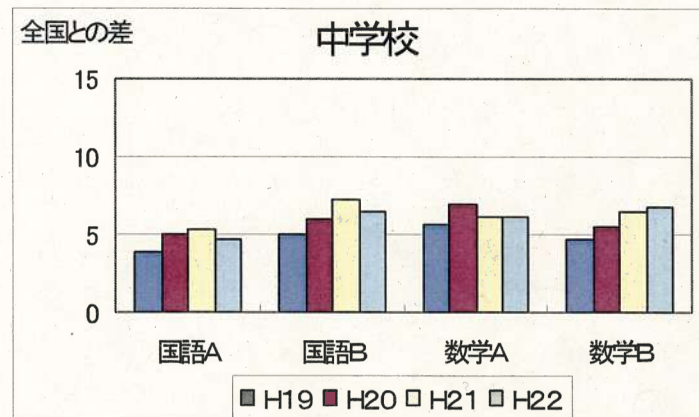
※H22年度の平均正答率に係る数値は、抽出調査における誤差も含めた「平均正答率の95%信頼区間」(例えば、88.7~89.9)で示している。

(2) 全国の平均正答率との差の推移 (H22の数值は中央値)

○小学校第6学年



○中学校第3学年



- 全国の平均正答率を、小学校では各教科で5ポイント以上、中学校では各教科で4ポイント以上上回っており、おおむね良好な状況である。
- 小学校・中学校、国語、算数・数学のほとんどの問題において本県の平均正答率は全国平均を上回っている。
- 課題として取り組んできたB問題については、平均正答率で全国の状況を大きく上回る傾向にあり、平均知識・技能等の活用に重点を置いた授業改善が徐々に進んできていると判断できる。また、学年進行とともに学力を一層伸ばすことについても、良好な結果が示されている。
- 小学校・中学校ともに、標準偏差が各教科で全国以下である。また、正答数分布は、全国に比べ正答数の多い層が厚く、反対に正答数の少ない層は薄くなっている。
- 無解答率は、国語、算数・数学ともにすべての問題で全国平均以下となっており、小学校ではすべての問題が、中学校では7割近くの問題が、全国が無解答率の半分以下となっている。
- すべての児童生徒に定着が求められ、正答率が十分でない問題については、早急に指導の改善を図り、一層の向上を目指す必要がある

2 児童生徒質問紙調査結果概要

○「している」「どちらかといえばしている」など肯定的な回答

◎ 4年間の調査結果から、本県の小学校6年生と中学校3年生の学習意欲や生活習慣は、いくつかの課題は見られるものの、全体としては望ましい傾向。

◎ 特に、家庭生活が安定しており、家庭学習が習慣化している。また、児童生徒は学校の授業に積極的に取り組んでおり、地域への関心も高いというのが特徴。

	上回っている主な項目	小学校6年生		中学校3年生	
		秋田県	全国比	秋田県	全国比
生活習慣	普段（月～金曜日）、何時ごろに起きますか。	(7時より前に起きる) 92.8	+15.7	(7時より前に起きる) 83.8	+16.7
	普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか。	(10時より前に寝る) 56.1	+12.3	(11時より前に寝る) 39.1	+6.7
	携帯電話の使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。	98.3	(持っていないを含む) +2.5	92.2	+7.4
学習習慣	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。	26.3	(2時間以上) +2.8	51.6	+13.4
	家で学校の授業の復習をしていますか。	86.8	+37.2	74.5	+31.0
	家で苦手な教科の勉強をしていますか。	72.2	+22.3	66.1	+22.3
	家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか。	73.0	+21.2	60.1	+20.4
授業	普段の授業では、自分の考えを発表する機会があたえられていると思いますか。	87.1	+5.6	85.1	+11.8
	普段の授業では、児童生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。	85.0	+8.9	75.5	+20.2
	国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。	73.8	+13.7	63.4	+17.6
	算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	77.1	+12.5	44.7	+7.5
他	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	77.4	+15.8	39.9	+5.6
	下回っている主な項目	小学校6年生		中学校3年生	
		秋田県	全国比	秋田県	全国比
	家の手伝いをしていますか。	77.5	-2.7	60.2	-4.6

3 学校質問紙調査結果概要

○「よく行った」「どちらかといえばよく行った」
など肯定的な回答)

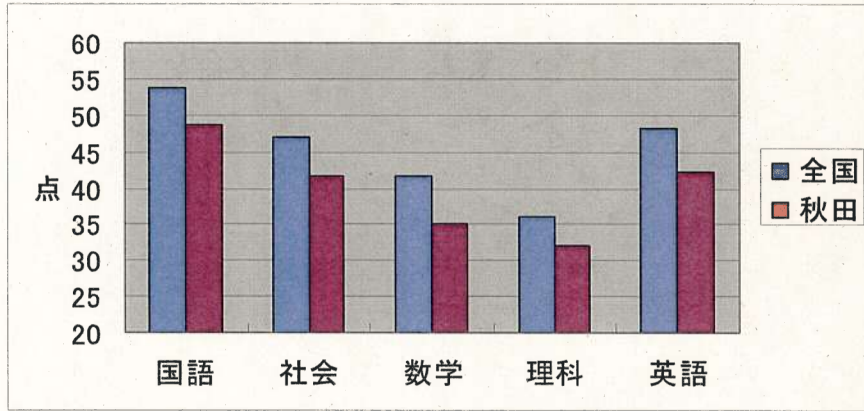
◎放課後や長期休業中の学習支援、補充的・発展的な学習などきめ細かな指導、調査結果の組織的な活用、調査結果の公表や説明などにおいて各学校の積極的な取り組みがうかがえる結果。

上回っている主な項目		小学校 6 年生		中学校 3 年生	
		秋田県	全国比	秋田県	全国比
学 力 向 上	「朝読書」などの一斉読書の時間を設けましたか。	100.0	+10.6	97.1	+16.5
	放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか。	61.3	+13.0	62.1	+13.7
	長期休業期間を利用した補充的な学習サポートを実施していますか。	37.5	+13.0	71.1	+13.5
	国語の指導として、家庭学習の課題の与え方について、校内の職員で共通理解を図っていますか。	95.0	+14.2	82.3	+9.5
	算数・数学の指導として、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図っていますか。	95.1	+13.9	89.8	+17.0
調 査 結 果 の 活 用	平成21年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で活用しましたか。	96.1	+11.1	94.1	+12.6
	平成21年度全国学力・学習状況調査の調査問題を授業の中で活用しましたか。	99.0	+37.7	94.0	+39.8
	学校の指導計画や取組を検討するにあたり、平成21年度全国学力・学習状況調査の調査結果や報告書の内容を参考にしましたか。	99.0	+15.7	89.9	+9.1
連 携	平成21年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか。	85.1	+10.9	78.0	+11.2

下回っている主な項目		小学校 6 年生		中学校 3 年生	
		秋田県	全国比	秋田県	全国比
教員以外の職員で学校図書館に関する事務を担当する（いわゆる「学校司書」など）が置かれていますか。		24.9	-18.2	36.3	-7.1
学校図書館を活用した授業を計画的に行っていますか。		66.3	-12.5	43.5	-2.9

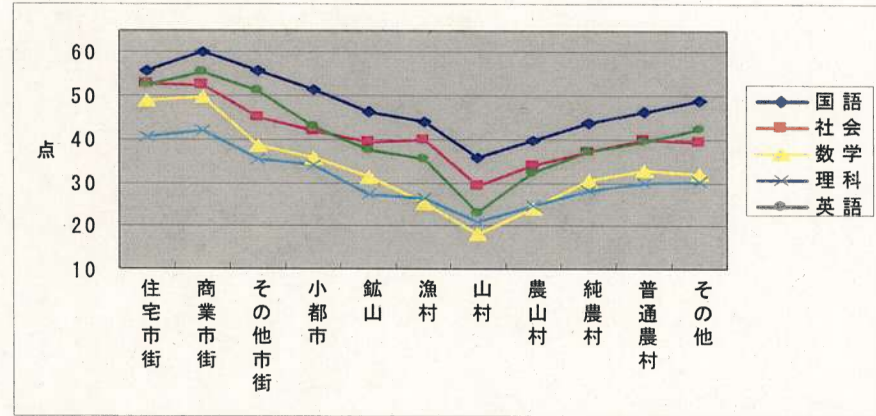
～参考～ 昭和39年度の秋田県の状況

○昭和39年度全国学力調査 中学3年生 全国・秋田県比較



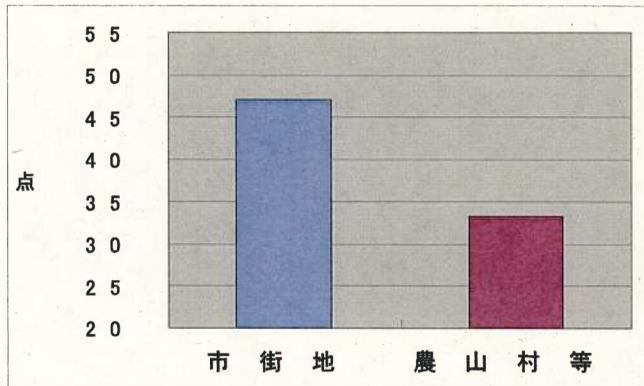
昭和39年に行なわれた全国学力調査の結果において、秋田県の成績は、どの教科も全国より低位にあり、40位前後だった。

○昭和39年度全国学力調査 中学3年生 県内比較

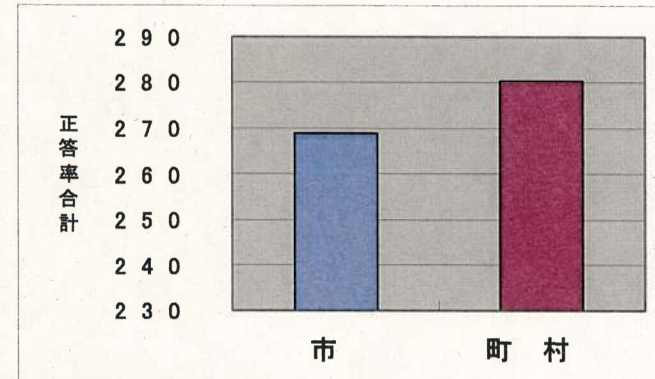


市街地と農山村などでは、14点もの差があり、農山村地域の学力向上が、当時の重要な教育課題であった。

昭和39年度全国学力調査
中学3年生 市街地・農山村等比較



平成20年度全国学力・学習状況調査中学生
市・町村比較



「農山村は貧しく学力が低い」というデータは過去のものに
全県各地・校における一定の教育水準の確保！！(地域格差の縮小)